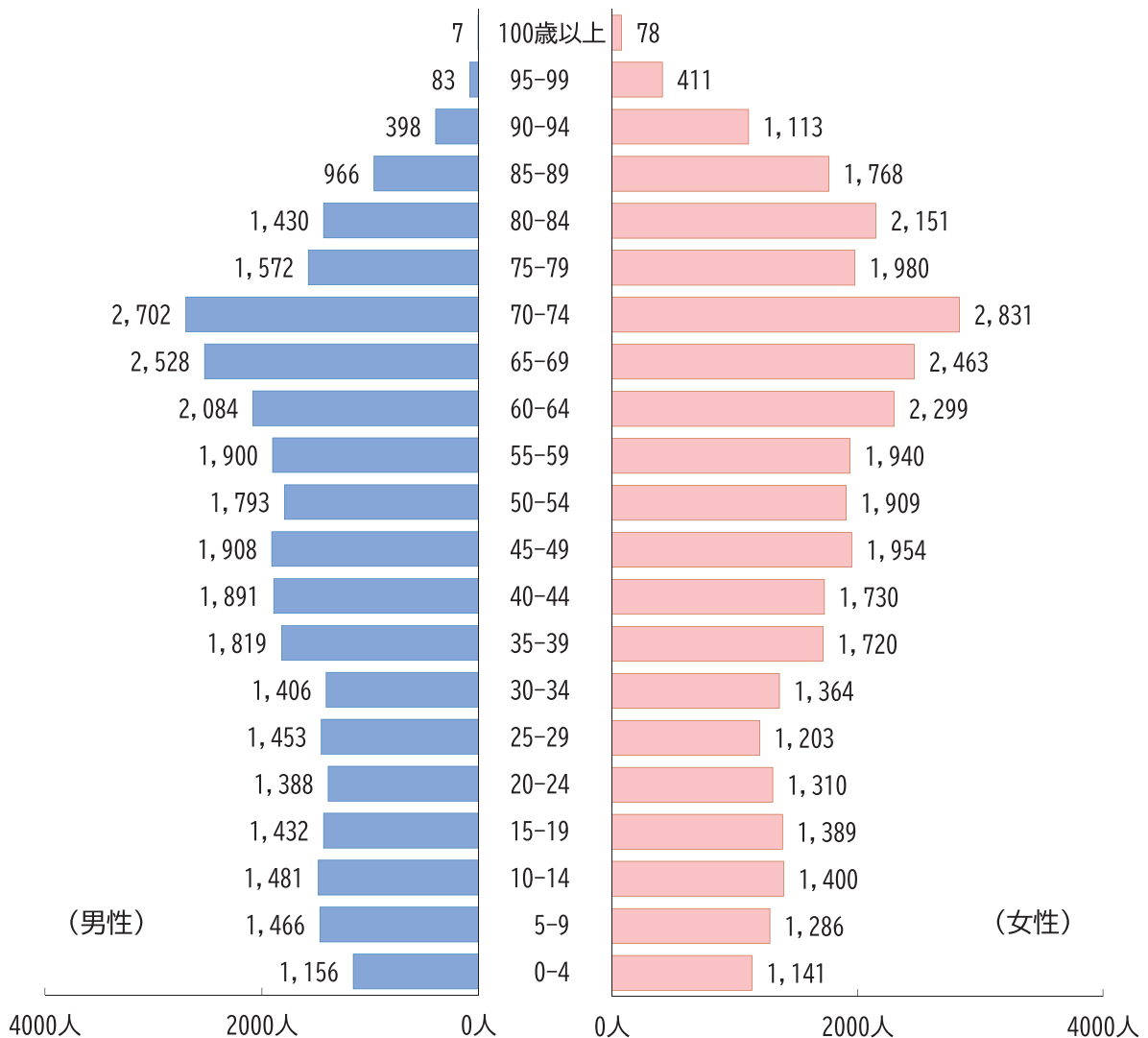


第2章 統計からみる玉名市の現状

1. 人口ピラミッド

本市の総人口は令和4年3月末現在で 64,303 人であり、そのうち 65 歳以上の高齢者が 22,481 人、高齢化率は 35.0%となっています(図表 1)。年齢階層別にみると、男女ともに 70 歳～74 歳の人口が最も多くなっており、今後5年以内に後期高齢者となることが見込まれており、本市の高齢化はさらに進行していくものと予想されます。

図表 1 人口ピラミッド



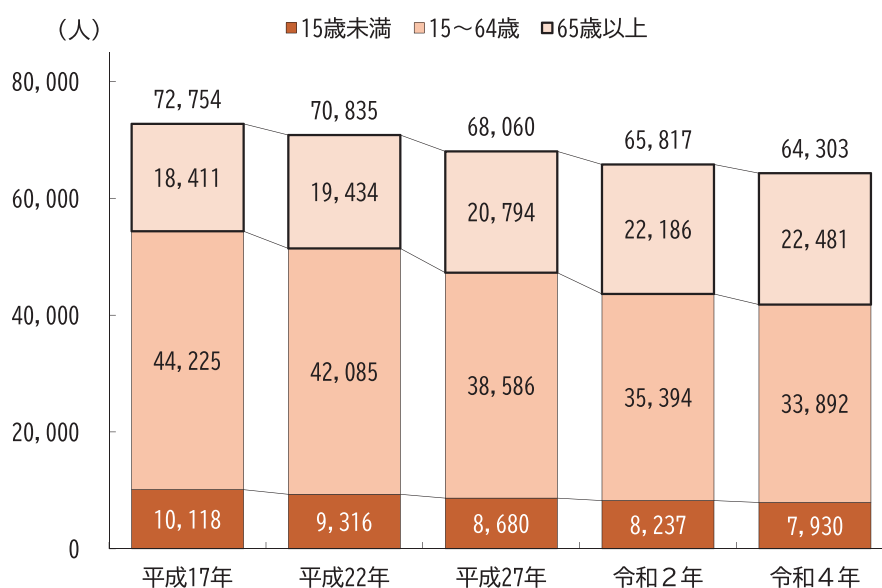
資料：住民基本台帳（令和4年3月末現在）

2. 人口の推移

本市の人口の推移をみてみると、総人口は一貫して減少傾向にあります(図表 2)。内訳をみると、15歳未満である年少人口及び15～64歳である生産年齢人口は一貫して減少しているのに対し、65歳以上の老年人口は年々増加しています。

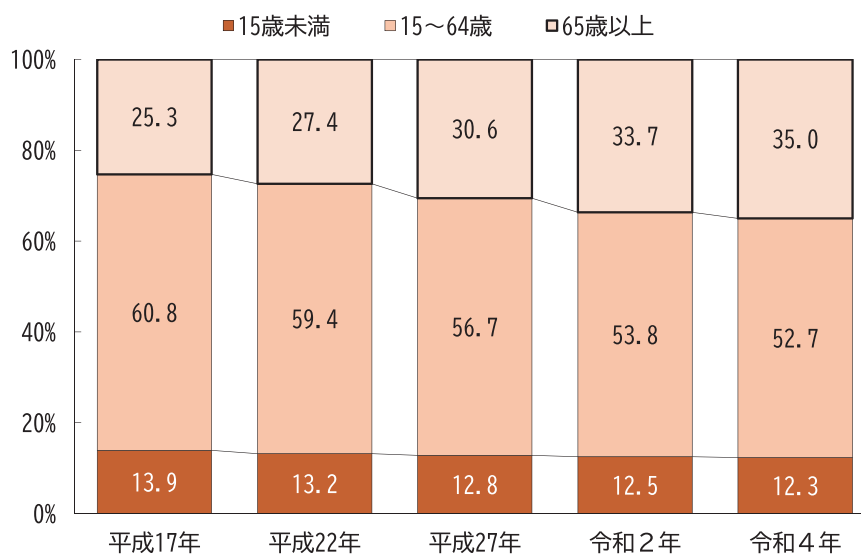
年齢3区分別の人口割合をみると、一貫して少子高齢化は進行しており、平成17年から令和4年までの期間で高齢化率は9.7ポイント上昇しています(図表 3)。

図表 2 年齢3区分の人口推移



資料：住民基本台帳（各年3月末現在）

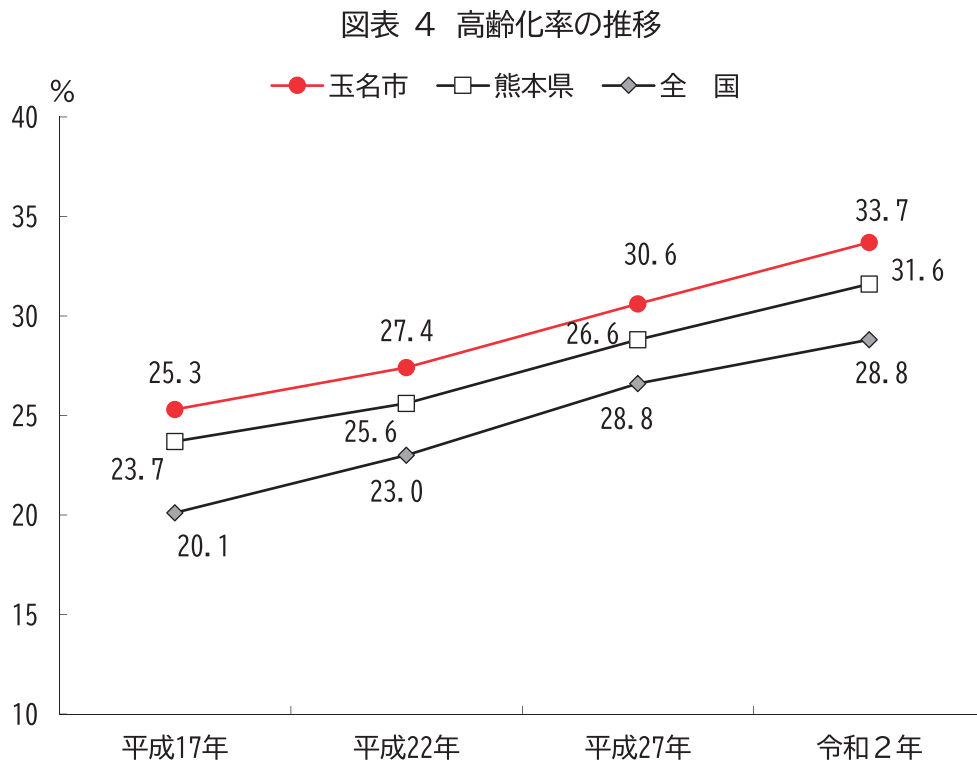
図表 3 年齢3区分の人口割合の推移



資料：住民基本台帳（各年3月末現在）

3. 高齢化率の推移

本市の高齢化率は、平成17年以降から令和2年まで国、県と比較して高く推移しています(図表4)。

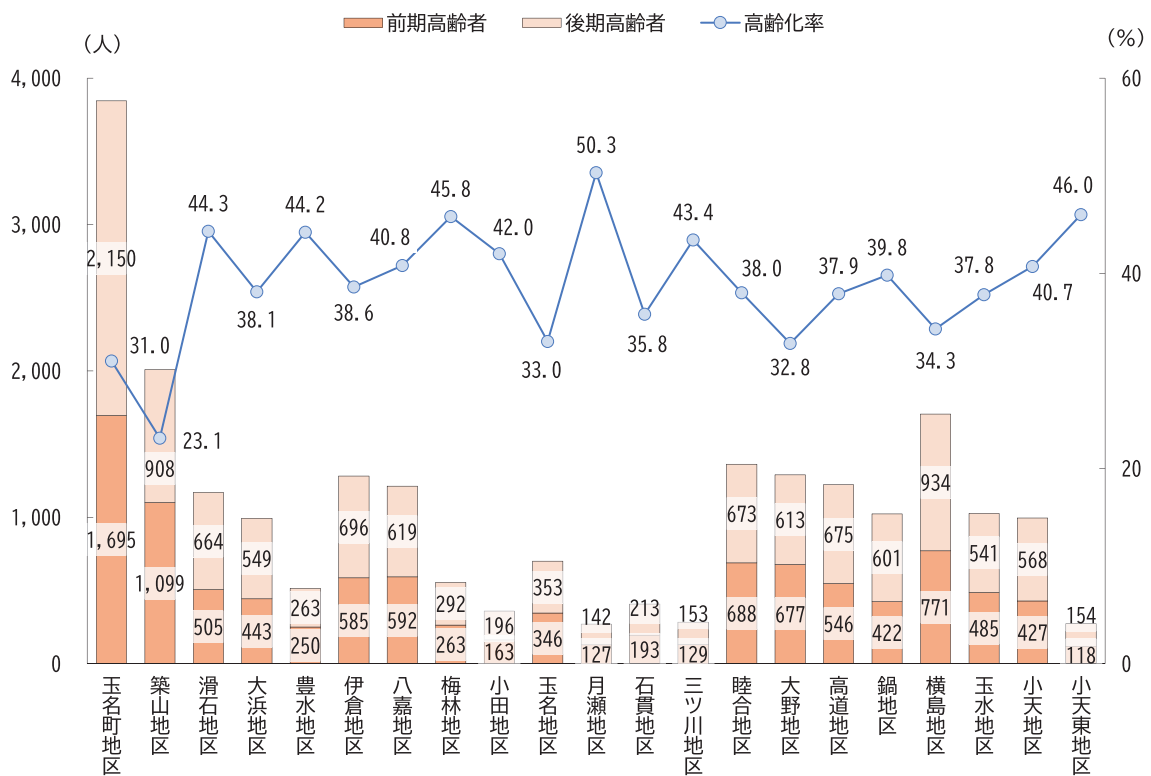


資料：全国・熊本県（国勢調査）、玉名市（住民基本台帳各年3月末現在）

4. 地区別高齢化率

地区別に高齢化の状況を見ると、月瀬地区の高齢化率は 50.3%となっており、高齢化率が最も低い築山地区(23.1%)と比較して 27.2 ポイントの差があることが分かります(図表 5)。

図表 5 地区別高齢者人口及び高齢化率



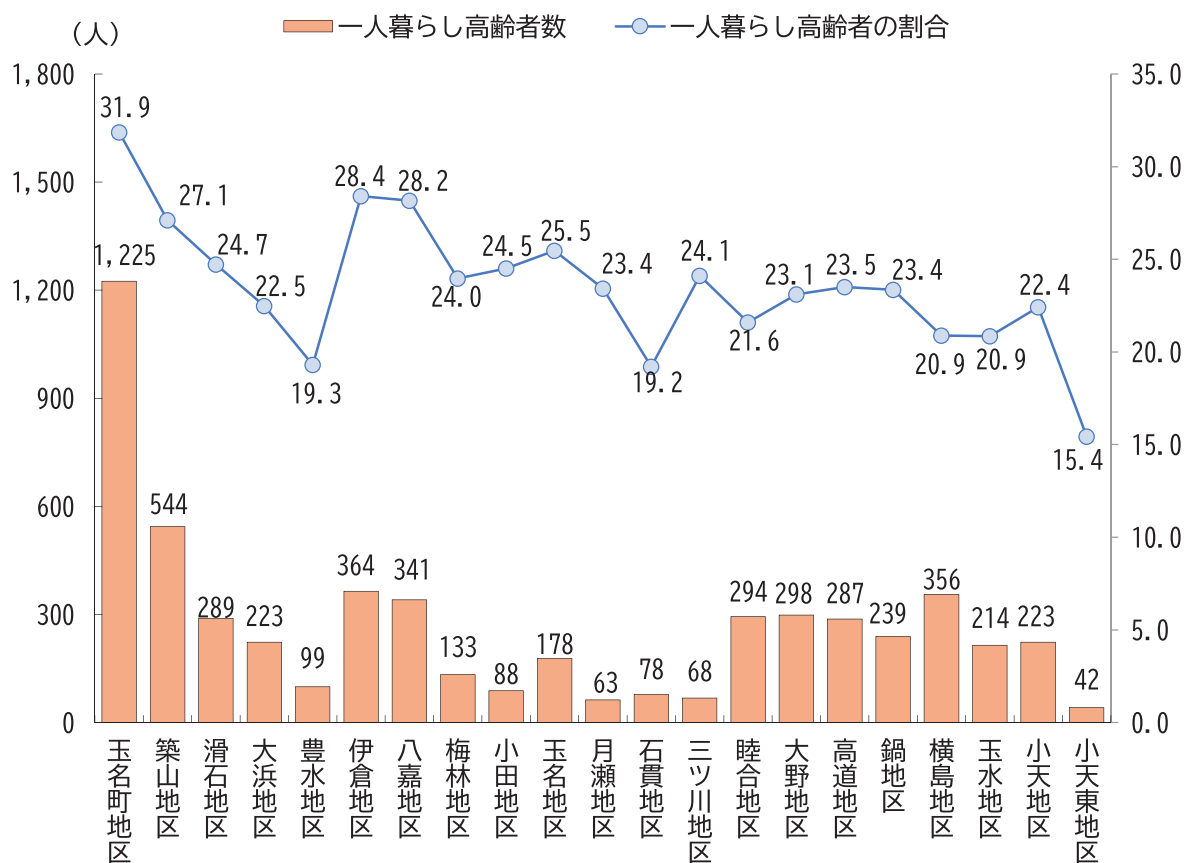
資料：住民基本台帳（令和4年3月末現在）

5. 地区別一人暮らし高齢者数

本市の一人で暮らしている高齢者の数を見てみると令和4年3月末現在で 5,646 人となっています。これは、玉名市の高齢者のうち約4人に1人が一人暮らし高齢者となっていることが分かります。地区別にみると、玉名町地区が最も多くなっており、1,225 人となっています(図表 6)。

昨今、コロナウイルスの影響等で外出の自粛が求められている中、地域とのつながりがさらに希薄化している現状もあります。一人暮らし高齢者が孤立しないような取り組みが求められています。

図表 6 地区別一人暮らし高齢者数及び割合



資料：住民基本台帳（令和4年3月末現在）

6. 要介護者の増加

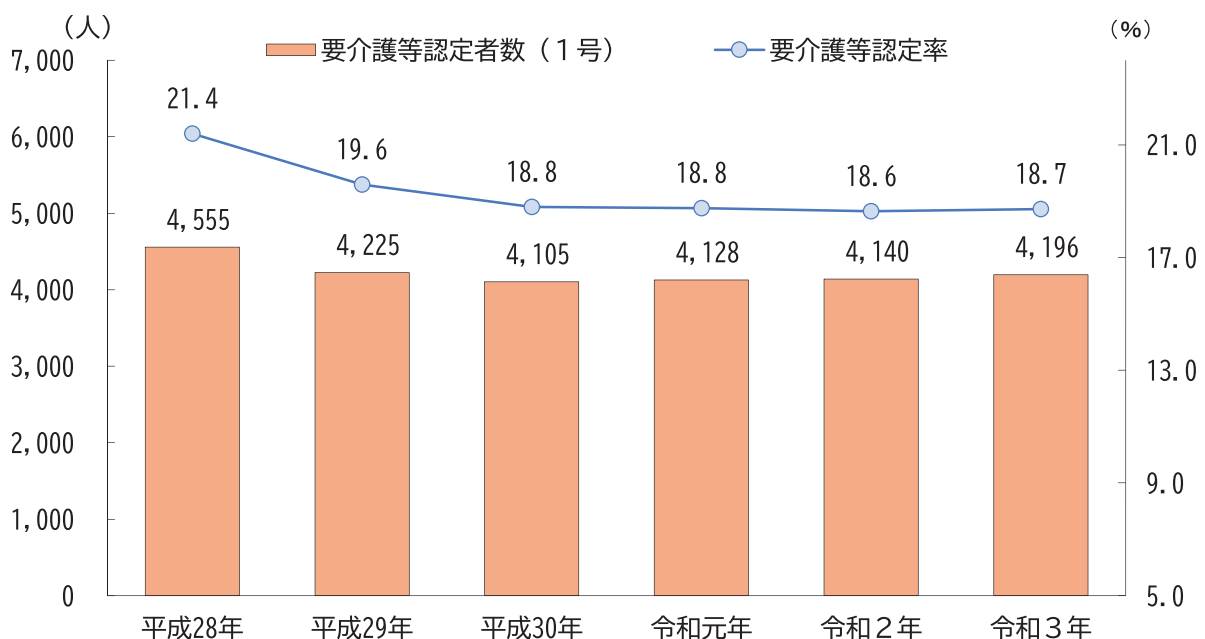
高齢化の進行に伴い、介護等、生活に何らかの支援を必要とする要介護者も増加しています。

本市における 65 歳以上の要介護認定者数及び要介護認定率(第1号被保険者数に対する要介護認定者数の割合)の推移をみると、要介護認定者数は平成 29 年で減少しましたが、その後多少の増減がありながらもおおむね増加傾向にあります。また、要介護認定率は平成 28 年をピークに低下傾向にあり、平成 30 年以降ほぼ横ばいで推移しています(図表 7)。

要介護度別の認定者数の推移をみると、平成 28 年以降、「要介護1」と「要介護4」以外は、多少の増減がありながらも、横ばいか減少傾向にありますが、「要介護1」と「要介護4」については増加しています(図表 8)。

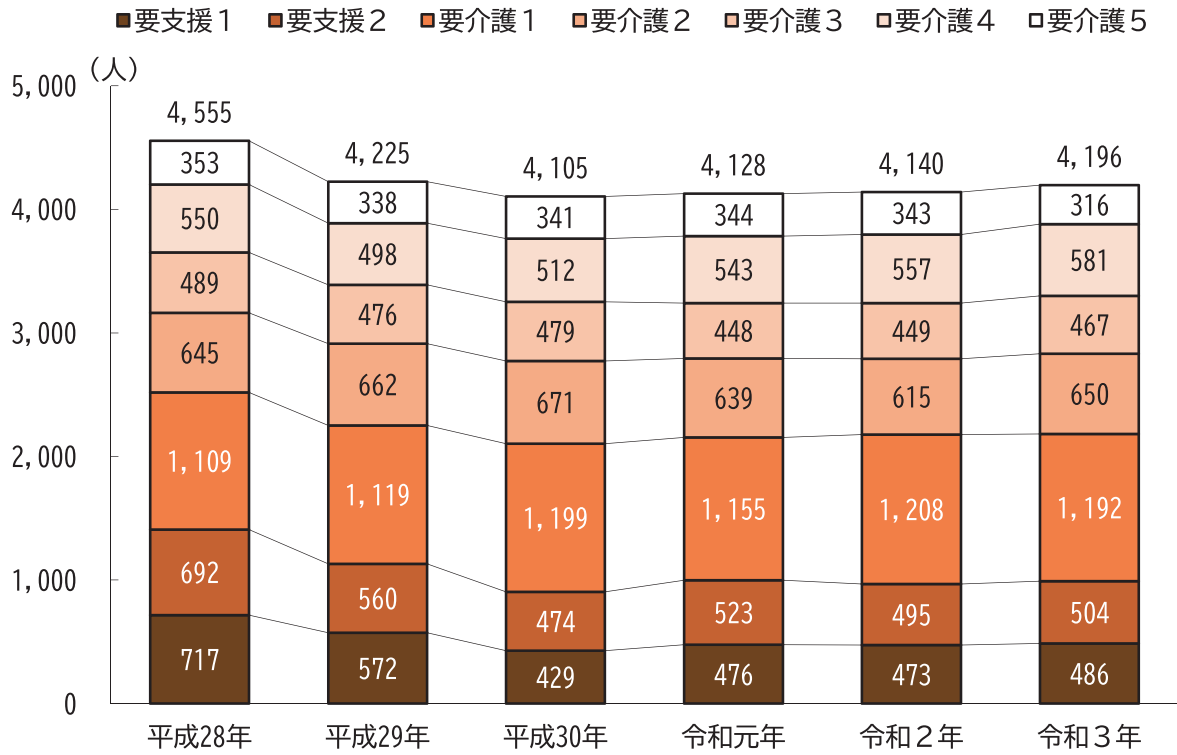
要介護認定者の増大に伴い、介護をする家族の負担も大きくなります。要介護者や家族介護者への支援やサービスの提供のほか、介護予防の取り組み、地域社会全体での支え合いの仕組みを作ることで、介護者の負担軽減を図る必要があります。

図表 7 要介護等認定者数及び要介護等認定率の推移



資料：玉名市（各年9月末現在）

図表 8 要介護度別認定者数の推移



資料：玉名市（各年9月末現在）

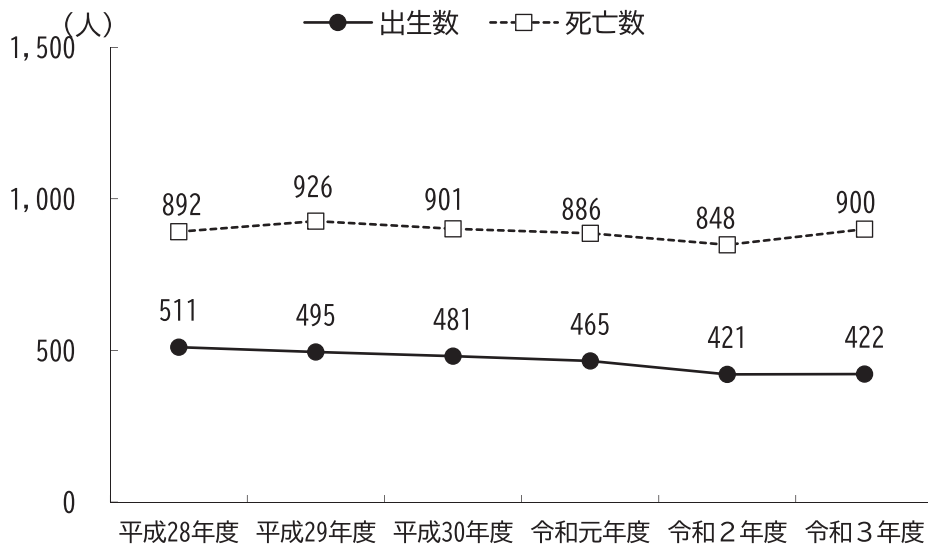


7. 自然動態及び社会動態

本市の出生数は、年度によって多少の増減はあるものの年々減少傾向にあり、令和3年度は422人となっています。死亡数に関しては、年度ごとに多少違いはありますが、ほぼ横ばいで推移しています(図表9)。

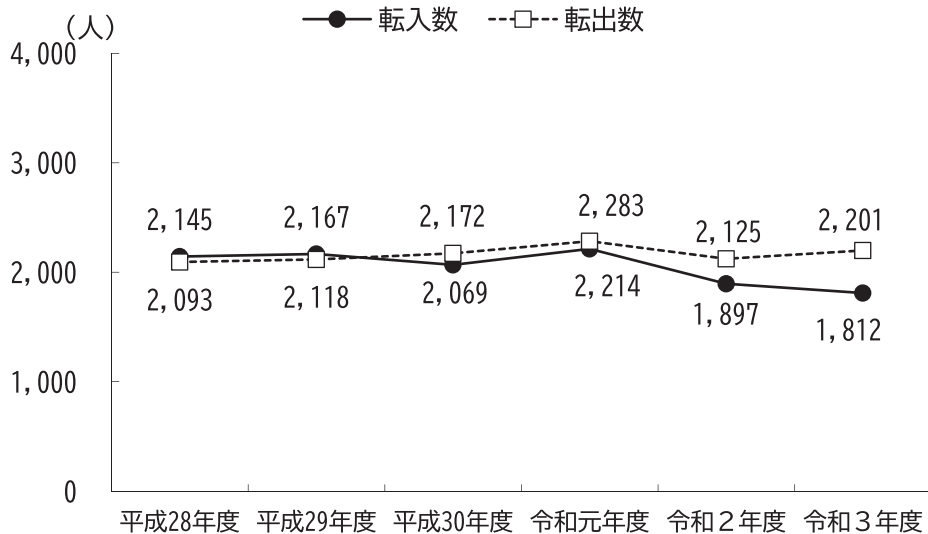
転入と転出に関しては、平成30年度以降は転出数が転入数を上回っており、平成30年度以降は一貫して転出数の方が高く推移しています(図表10)。

図表9 出生数及び死亡数の推移



資料：住民基本台帳（各年度3月末現在）

図表10 転入数及び転出数の推移

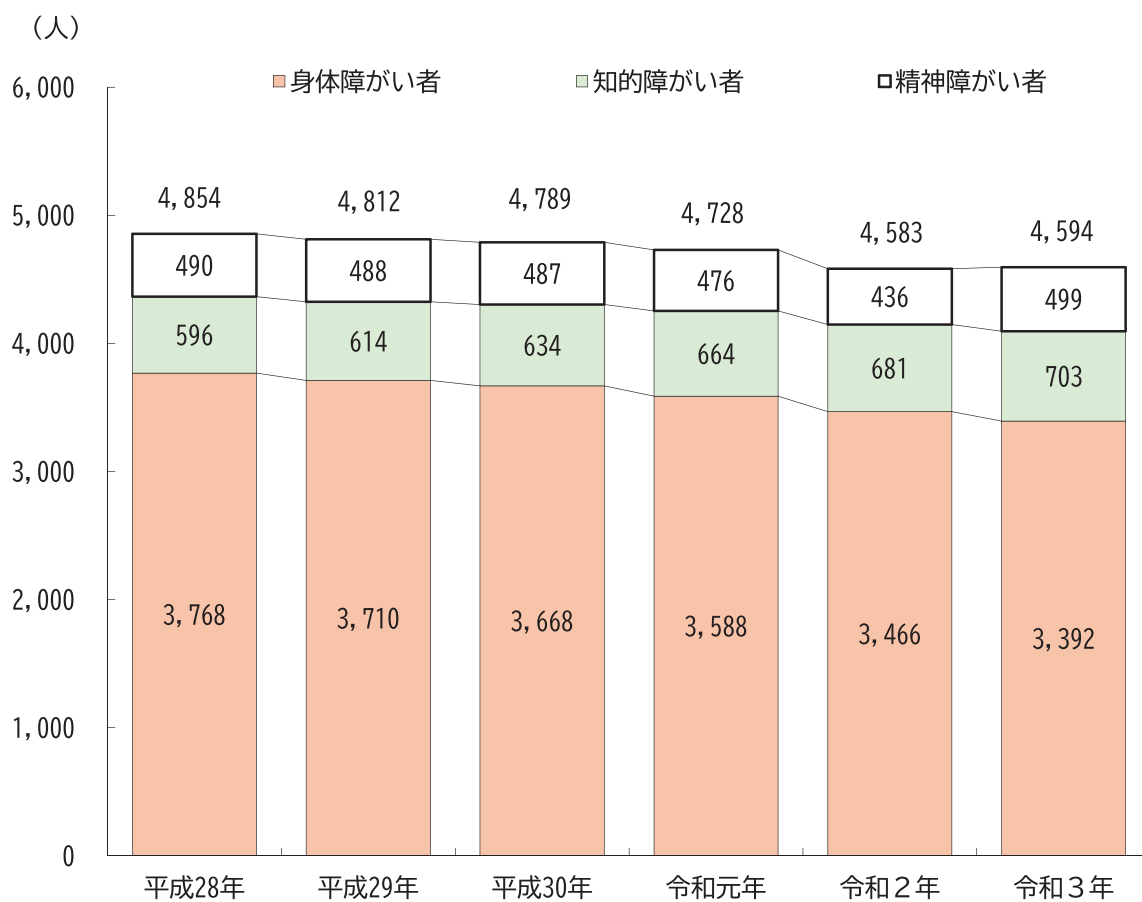


資料：住民基本台帳（各年度3月末現在）

8. 障がい者の状況

本市の障害者手帳所持者数は、おおむね減少傾向にあります。内訳をみると、身体障害者手帳所持者数は減少傾向にありますが、療育手帳所持者数と精神障害者保健福祉手帳所持者数は、多少の増減はありますがどちらとも増加傾向にあります（図表 11）。

図表 11 障害者手帳所持者数の推移



資料：玉名市（各年 10月1日現在）